



岡山大学記者クラブ 御中

令和4年12月22日  
岡山大学

妊産婦の自殺や子どもの虐待を防ぐために  
「母と子のメンタルヘルスケア研修会」入門編  
「産後うつ等の早期発見・対応に向けて」を開催

◆発表のポイント

- ・妊娠中から切れ目なくハイリスク妊産婦の支援を始める「岡山モデル」も12年を迎え、岡山県では虐待通告・相談事例の件数は減少傾向となっています。
- ・このような支援スタッフの増加を期待して、日本産婦人科医会が全国展開している「母と子のメンタルヘルスケア研修会」入門編を開催します。
- ・岡山モデルのコンセプト、新型コロナウイルス感染拡大と妊産婦のうつや不安の解説、また、精神科の専門医が支援方法を解説、グループに分かれ模擬ケースを検討します。

平成23年から始まった社会的ハイリスク妊産婦への支援システム「岡山モデル」も12年を迎えました。妊娠中から切れ目なくハイリスク妊産婦の支援を始めることで、岡山県では、全国的に見られる虐待通告・相談事例の件数の増加とは反対に減少傾向となっています。妊産婦の自殺や子どもの虐待を防ぐためには、社会的ハイリスク妊産婦への支援を行う医療・保健・福祉機関など多くのスタッフが必要です。

しかし、COVID-19拡大に伴いメンタルヘルスの問題を抱える妊産婦が増えています。この度、10月に当研究室が開催した公開セミナー「社会的ハイリスク妊産婦と多職種連携による支援」に続き、メンタルヘルスの課題を持つ妊産婦や子育て中の母親への支援を連携して行うことができるスタッフが増えることを期待して、「母と子のメンタルヘルスケア研修会（入門編）」を開催します。研修会では、岡山県産婦人科医会理事が、岡山モデルのコンセプト、また、新型コロナウイルス感染拡大とともに広がる妊産婦のうつや不安のデータを解説します。また、母子のメンタルヘルスに詳しい精神科医が、出産後の「エジンバラ産後うつ病質問票」など3つの質問紙を使用した支援の方法などを解説し、模擬ケースを検討する研修を実施します。

妊産婦の医療とケアに携わるすべての医療・行政スタッフにご参加いただき、妊産婦のメンタルヘルスの基本的な知識や対応を学び、実際の現場での重層的な支援が広がることを目標としています。

また、本研修会は助産実践能力習熟段階（クリニカル ラダー）レベルⅢ認証制度における申請要件となる研修として承認されます。アドバンス助産師の方々は奮ってご参加ください。

『Zoom』を使用したオンラインでの公開セミナーのため、パソコン、スマホ、タブレット等をお持ちでしたらどこからでも参加いただけます。



## PRESS RELEASE

### <開催概要>

1. 名 称 : 「母と子のメンタルヘルスケア研修会」 入門編  
産後うつ等の早期発見・対応に向けて
2. 日 時 : 令和5年2月11日(土・祝) 13:00~17:00(オンライン開催)
3. 対 象 者 : 産科・精神科・小児科医療機関の医師、助産師、看護師、保健師、  
精神保健福祉士等の医療従事者および保健福祉行政職員、医療系学生、  
その他、妊産婦や子育て中の母親への支援の関係者を対象
4. 申込方法 : 母と子のメンタルヘルスケア(MCMC)サイト <https://mcmc.jaog.or.jp/>  
よりお申し込みください。※締め切り:2月5日(日)まで
5. 参加費用 : 4000円(事前のe-Learning受講、受講修了証発行、研修会費用として)

### <補足>

詳しい情報は、岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室ホームページをご参照ください。

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>

### ◆研究者からのひとこと

「With コロナ/Post コロナ時代に子どもを持つこと」は新たな重要課題です。中塚研究室では、多くの研究者や学生がリプロダクションやジェンダーについて研究しています。気軽にご連絡ください。

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>



岡山大学大学院保健学研究科  
教授 中塚幹也

### <お問い合わせ>

岡山大学大学院保健学研究科

教授 中塚幹也

(電話番号・FAX) 086-235-6538

岡山大学大学院保健学研究科

「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム事務局

(電話番号・FAX) 086-235-6538